

みやぎSDGs Farm



みやぎSDGsファーム

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に、宮城県内の企業や個人が連携し、より豊かな地域づくりを目指す取り組みです。その推進役となる人材「みやぎSDGsアンバサダー」を育成するプログラム「みやぎSDGs塾」を、2021年11月から河北新報社が運営し開講しています。



詳しくはこちらから

賛同企業
募集中!!

[申し込み・問い合わせ]
河北新報社営業局
TEL. 022-211-1318
koukoku@po.kahoku.co.jp

祝「みやぎSDGsアンバサダー」認定! 「わたしのSDGs活動宣言」Vol.9



当社ではロハスト
オフィスを組み合わ
せた「ロハイス」を
コンセプトに定禅寺
通に新たなオフィスを開設しました。新オ
フィスは健康的で持続可能な生活様式を取
り入れた新たな空間づくりを目指していま
す。私はロハイス開設プロジェクトのメン
バーに加わり健康で持続的な働きやすい環
境とは何かを考えるきっかけとなりました。
た。

ロハイス内は緑にあふれ、サステナブル
な家具を使用し、働く席を自由に選べるフ
リーアドレスや、スタンディング席で自然
に對話が生まれやすい空間にしました。こ
れまで話す機会が少なかった社員同士の何
気ない会話が増え、職場環境が働く人の健
た。

「地球が壊れてしま
うから」
買い物へ行くとき
に、娘がマイバック
を必ず持参します。
きっかけは、海洋プラスチックが与える
影響を、テレビで見たことです。自分がで
きることからやるという姿勢に感心しまし
た。



「地球が壊れてしま
うから」
買い物へ行くとき
に、娘がマイバック
を必ず持参します。
きっかけは、海洋プラスチックが与える
影響を、テレビで見たことです。自分がで
きることからやるという姿勢に感心しまし
た。

みやぎSDGs塾を通じて、南三陸の杉
林の林業や加工現場を見学し、あらためて
地域での持続可能な活動が循環し、森林環
境を守っていることを学びました。

私が働いているリコージャパンでは、全
ての事業でSDGsに貢献する「事業でS
DGsの同軸化」を掲げて推進しています。
持続可能な経済にするために「はたらく」



「私たちが今、でき
ること。このフレー
ズをよく耳にしませ
んか?」

みやぎSDGs塾では、企業や団体の
方々の取り組みを聞き、学生の行動力を生
かして行ってきた自身の活動を共有しまし
た。

例えば、ゼミの活動では、SDGsの中
でも消費行動についての問題を取り上げて
研究しています。昨年6月・9月には、仙
台のアーケード内で行ったSDGsのイベ
ントに参加し、ポスター展示のワーク
ショップを行いました。話を聞いてくだ
さった方々が、普段生活で使用する物や、
購入する商品選びの意識改革につながっ
ただけはと願っています。



地域の企業を支え続けたい

SKホールディングス 千葉睦実さん

康にも影響を及ぼすと感じています。働き
やすい環境を整えることは社員の健康や原
動力につながり、SDGsの目標8「働きが
いも経済成長も」の実現に近づけることにな
ります。
みやぎSDGs Farmを通じてさまざ
まな企業の意見や価値観に触れ、SDGs
の実現は一人一人の力は小さくても協力す
ることが大切ということを学びました。
当社は自由で新しい働き方を実現しなが
ら社会課題解決を追求していま
す。私も社員や地域に活力が湧
いてくる場所づくりができるよ
う、一つ一つの仕事に丁寧に向
き合い、SDGsへの大きな一歩
につながるよう日々努力してい
きます。



はたらくに喜びを

リコージャパン 渡邊信一郎さん

に変革を支援しています。オフィスの現場
は、コロナ下となりニューノーマルな働き
方が一気に加速しました。テレワークや
ウェブ会議が当たり前となり、働く場所や
コミュニケーション方法も様変わりしてい
ます。
社内での実践事例を紹介する「Vic
re A仙台」は、これまでのチャレンジし
た成功・失敗体験を蓄積し、ノウハウを提
供する場として活動しています。当たり前
を疑うことで、見えないお困り
ごとを共有し、新しい価値創造
をご支援していきます。
「はたらくに喜びを」。地域の
皆さまと実践していきます。



今すぐに「できること」ありますよ!

尚絅学院大学 中川蓮さん

講演会・書籍・新聞・ネットの情報記事
から、企業や団体の方々の取り組みを知り、
理解し、多くの人々に発信する。それを見
てくださった方々には、取り組みを知り、
理解し、さらには行動に移してもらう。こ
こまでのつながりを生み出すことが私の今
後の目標です。
そこで、この宣言文を読んでくださった
方へのお願いです。ぜひ学生、企業や団体
の方々の発信を受け取ってください。この
ような新聞記事の一部や、街中での催し物
で足を止めて話を聴いていただけると、と
てもうれしいです。まずは、知
るところから、目標に向けた第
一步を始めてみませんか。

